

**第2回 契約・調達管理会議
議事要旨**

1 開催日時

令和5年5月23日（火曜日）16時00分から17時00分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎19階 19E会議室

3 出席者

(1) 委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鶴川 正樹	監査法人ナカチ／公認会計士
金谷 晃臣	東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第二課長
北島 隆	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部シニアマネージャー
清水 俊二郎	東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
滝口 広子（※）	北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
灘野 邦敏	一般財団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会
藤川 太郎	一般財団法人全日本ろうあ連盟

（※）オンラインにて出席

(2) 事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

(1) 開会

(2) 議事（発言者の敬称略）

ア 「契約・調達管理会議」における付議基準について【資料1】

<説明・確認>

・品質の確保及び不良不適格業者の排除を図る観点から、入札手続きの結果「低入札」となった案件について、契約締結前に本会議に付議することを事務局から説明。

<質疑・意見など>

鶴川：契約締結前に「低入札」の案件を本会議に付議していくとのことだが、低入札以外にも必要に応じて付議基準を検討していくという理解でよいか。

事務局：そのとおり。

イ 事務機外 13 点の借入れ【資料 2】

<説明・確認>

- ・ 案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。
 - (ア) デフリンピック準備運営本部オフィスで使用する事務機等の借入れを行う。
 - (イ) 契約形態について、契約期間が 32 カ月と短期間であること、費用面でも安価に借り入れることができることから、レンタルでの契約を行う。
 - (ウ) 東京都庁のオフィスでも使用されている什器を参考に、高額ではなく、かつ業務を行うのに適切なものを選定している。

<質疑・意見など>

鶴 川：下見積もりは複数者から徴取することが望ましいが、2 者以上から取得しているか。

担当者：2 者以上から取得している。

ウ 複写サービス（複数単価契約）【資料 3】

<説明・確認>

- ・ 案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。
 - (ア) デフリンピック準備運営本部オフィスで使用する FAX 付複合機の調達を行う。
 - (イ) 契約形態は、什器同様、借入期間が 3 年に満たない等の関係から、レンタルで行う。

<質疑・意見など>

滝 口：想定される印刷枚数を基に金額を積算しているとのことだが、およそどの程度を想定されているか。

担当者：複合機の機能の点では、東京都庁で使用されている機種と同等のものを想定している。印刷枚数については、都で掲げるペーパーレスの取組を参考に算出している。

鶴 川：想定枚数の上限を超えた場合はどうなるか。

担当者：プリンターなど安価なものを追加で調達することなどで対応予定。

藤 川：都庁で使用されている機種とは、ホチキス止めなどの機能があるものと想定してよいか。

担当者：そのとおり。

エ デフリンピック準備運営本部用グループウェア等の各種ライセンス調達、環境構築、運用支援及び情報環境保守業務委託【資料 4】

<説明・確認>

- ・ 案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

- (ア) デフリンピック準備運営本部の職員が業務を行うために必要なソフト面のネットワーク環境構築等の業務を委託する。
- (イ) オフィス内だけでなく、競技会場等のオフィス外の拠点でも職員が業務を行うため、オフィス内外問わず業務ができる環境の構築が必要になる。
- (ウ) ネットワーク環境の設計について、デフリンピック準備運営本部の社内サーバーへVPN 接続を行う形にすると、接続が重なった場合、回線の混雑による不具合が発生するほか、増員の都度、回線の増強が必要になり、デフリンピック準備運営本部の業務に適さない。そこで、業務に適した環境にするため、VPN を使わず、セキュリティを担保したうえで、オフィス内外どこからでもクラウドに接続できるネットワーク環境を構築する。
- (エ) 都と同等レベルのセキュリティレベル、アクセスレベルを実現するソフトウェア等を導入する。

<質疑・意見など>

滝 口：応札できそうな業者はどの程度想定されているか。

担当者：仕様書上、2つの製品を参考製品として提示しているが、複数者が応札できそうな見込みである。

鶴 川：サイバー攻撃への対策は、専門家の意見や助言を受けながら進めていただきたい。

担当者：デジタルの関係部署に適宜相談しながら進めている。

オ 通信機能付きスマートフォン端末利用環境の提供（単価契約）【資料5】

<説明・確認>

- ・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

- (ア) デフリンピック準備運営本部職員が準備運営を進めていくうえで、出先等で関係部署との連絡を頻繁に行う必要があることなどから、通信機能付きスマートフォン端末利用環境を整備するものである。
- (イ) 入札手続きを行った結果、低入札となったため契約締結前に付議する。
- (ウ) 契約担当部署において、落札者へのヒアリング（契約期間についての認識の相違がないかなど）、公表情報から、受注状況や財務状況などの確認を行っており、落札者が履行能力のある業者であることを確認している。また、辞退者へもヒアリングを行い、辞退理由も確認している。

<質疑・意見など>

滝 口：辞退者へ辞退理由をヒアリングしていただき、その辞退理由をふまえても履行に問題ないかを落札者へ質問するプロセスが必要と考えている。本件では、このプロセスも経ており、問題ないと考える。

鶴 川：契約には通信料は含まれているか。

担当者：通信料、通話料、端末代を含む契約になっている。

藤 川：今回調達するスマートフォンを使って、資料4のクラウドへの接続を想定したもののか。

担当者：その予定である。

鵜 川：東京都庁の入札においては、業者の格付けをしていると思うが、入札手続きの参加条件にしないとしても、業者の履行能力等の観点で国や都の格付けを参考にしてみてもどうか。

担当者：今後参考にしていく。

カ デフリンピック準備運営本部オフィス構築業務委託（専有部ネットワーク及び電話関係）【資料6】

<説明・確認>

・ 案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

(ア) ビル共用部からオフィスの専用部の分電盤まで引いてきたネットワークと電話の配線を、レイアウト等に基づいてオフィス専用部分に敷設する業務を委託する。

(イ) 入札手続きを行った結果、低入札となったため契約締結前に付議する。

(ウ) 契約担当部署において、落札者へのヒアリング（仕様内容を確実に履行できるかどうかなど）、公表情報から、受注状況や財務状況などの確認を行っており、落札者が履行能力のある業者であることを確認している。

<質疑・意見など>

滝 口：複数の入札者が参加し、競った金額なので金額についても一定の合理性がある。またヒアリングも適切に行われ、問題はないと考える。

キ 委員長によるまとめ

・ 契約締結前の案件の付議基準については、提案のとおりとする。

・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

(3) 閉会